

完了後の評価個表

整理番号	15
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	三重県
地域（地区）名	北伊勢 <small>きたいせ</small>	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	津市ほか6市町 <small>つ</small>	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は三重県の北部から中央部に位置し、津市ほか6市町からなる総面積177千haの区域である。</p> <p>森林面積は81千ha（森林率46%）であり、民有林は78千ha（森林全体97%）、うち人工林は52千ha（人工林率66%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成をみると、Ⅹ齢級以上の人工林の割合は91%を占めており、資源として十分成熟している森林が多く、今後は資源の循環利用を図ることが重要である。しかし、林業を取り巻く環境は、森林所有者の高齢化や労働条件の改善が進まないなど依然として厳しい状況にある。</p> <p>そのため、関連施策を積極的に活用しながら、後継者の育成や低コスト林業を実現するとともに、計画的な間伐や保育を実施し、持続可能な森林経営及び地域の実情に応じた森林整備を推進することが望まれる。</p> <p>本地区は、地域住民の生活に密着した里山や林業生産活動が積極的に実施される人工林、さらには広葉樹から成る天然林等、多様な林分構成をもつ森林が存在する。都市近郊の森林も少なくないことから、住民の森林に対する意識・価値観も様々であり、森林に求められる機能が多様化している。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養機能や山地保全機能等の公益的機能を十分に発揮するための造林や間伐等の森林整備を促進することを目的として、本事業を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 1,318ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>・総事業費 1,408,877千円（税抜き 1,320,857千円） （平成22年度時点 638,829千円（税抜き 608,409千円））</p> <p>※なお、事業採択時は事前評価の対象外である。</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事業着手以降、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から事業を実施したことによる事業量の変動等に加え、間伐においては、資源の充実により搬出量が増加し、1</p>
-------------------------	---

	<p>施行地当たりの事業費が増大したことを踏まえ費用便益分析を実施した。</p> <p>総便益（B） 13,747,024 千円 総費用（C） 1,946,597 千円 分析結果（B/C） 7.06</p>
② 事業効果の発現状況	<p>手入れ不足で過密化した人工林等において、森林作業道が 76,153m 整備されるとともに、それらの作業道を活用して除伐、間伐等の森林整備が 1,318ha 実施されたことにより、樹木が健全に成長できる環境がつけられ、森林のもつ水源涵養機能や山地保全機能等の公益的機能の維持増進に寄与した。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>整備された森林は、森林経営計画等に基づき適正に管理され、良好な状態を維持している。</p> <p>また、整備された路網は、間伐等の施業を実施する際に草刈りや路面整備を行う等、継続的な使用のための維持管理が適正に行われている。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により樹木の成長が促進され、森林のもつ水源涵養機能や山地保全機能等の様々な公益的機能が発揮されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>地球温暖化にともなう気候変動により、台風の大型化や集中豪雨の増加等が近年顕著になっており、土砂崩れや洪水被害の発生が各地で見られる中、県内で比較的人口の多い本地区においては、住民の災害に対する危機意識が向上する傾向にある。</p> <p>そのため、地域のニーズに応じて優先度の高い箇所から着実に森林整備を進め、住民の生活基盤の保全に寄与していくことが求められる。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林整備を偏りなく継続的に実施するため、森林所有者に対し事業実施の普及啓発等を行うとともに、ICT 技術やドローンを活用した林業の省力化や、再造林の低コスト化等に取り組み、積極的な森林整備の実施を促進する必要がある。</p> <p>地元の意見：</p> <p>（三重県）</p> <p>本事業により手入れ不足の森林が適切に整備され、森林のもつ水源涵養機能や山地保全機能等の様々な公益的機能が発揮され、県土の保全等に寄与している。</p> <p>（津市）</p> <p>認定林業事業者等が積極的に森林経営計画を作成し、集約化して森林整備を進めることができている。事業者等が計画通りに施業が実施できるよう、国、県、市が一体となって継続的に支援し、森林の有する多面的機能の発揮を促進していくことが必要である。</p> <p>（中勢森林組合）</p> <p>森林作業道の整備により、以前は出材できなかった箇所にアクセス可能となり、労力軽減やコスト低減を図ることができた。</p> <p>一方で、木材価格の低迷により森林所有者の林業経営意欲が減退しているため、今後は販売能力の強化や経営意欲の増進を図り、森林整備に積極的に取り組めるよう働</p>

	<p>きかけていきたい。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 間伐等の森林整備を通じて、森林のもつ公益的機能の維持増進が図られ、水源地の保全や土砂の流出防止に重要な役割を果たしており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林整備、路網整備ともに現場の状況に応じて作業の集約化やコスト縮減が図られており、効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林経営計画等を踏まえた計画的な事業の実施により、健全な森林の育成に寄与し、現在もその効果が継続していることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：三重県

地域(地区)名：北伊勢^{きたいせ}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,806,792	
	流域貯水便益	439,862	
	水質浄化便益	1,692,689	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,171,144	
環境保全便益	炭素固定便益	6,272,093	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,364,444	
総 便 益 (B)		13,747,024	
総 費 用 (C)		1,946,597	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,747,024}{1,946,597} = 7.06$		

森林環境保全整備事業 北伊勢地域 (三重県)



凡例	
計画区界	— (Red line)
事業区域	— (Black line)